

平成 30 年 10 月 24 日

各 位

熊本学園大学附属社会福祉研究所  
所 長 黒 木 邦 弘

### 平成 30 年度第 3 回社会福祉研究所研究会のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

この度、本研究所では、平成 30 年度第 3 回研究会について、別紙のとおり開催することになりましたので、ご案内いたします。

つきましては、貴機関内関係の皆様幅広く周知いただき、ぜひご参加くださいますようお願いいたします。

今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

敬 具

※本学には来客用の駐車場がございませんので、ご参加の際には公共の交通機関をご利用ください。

※今後、研究会の案内を希望されない場合、もしくは送付先（住所、氏名）の誤りや変更などございましたら、お手数ですが下記担当者までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

熊本学園大学附属社会福祉研究所

(担当：学術文化課 高岡)

〒862-8680 熊本市中央区大江 2 丁目 5 番 1 号

TEL : 096-364-5161 (代表) (内線 1753)

FAX : 096-364-5201

E-mail [shafuku@kumagaku.ac.jp](mailto:shafuku@kumagaku.ac.jp)

主催：熊本学園大学付属社会福祉研究所

平成30年度第3回研究会

# 現代社会における労働問題 ～貧困リスクと対策～

講師 小田川 華子 氏

(首都大学東京 人文社会学部客員教授)

日時 平成30年12月1日(土) 10:00～12:00

会場 熊本学園大学

12号館2階1222教室

定員 100名 ※参加費無料



今、雇用の現場は非正規の増加、人手不足、長時間過重労働でゆれています。

パートや派遣などの非正規労働は「多様な働き方」である反面、若者の貧困、高齢者の貧困リスクになっています。賃金、貯金、年金のどれもが不十分な高齢者の生活はどうなってしまうのでしょうか？人手不足を背景とする“ブラックバイト”は大学生や若者を苦しめています。また、残業代がなければ生活できないほどの低賃金が長時間過重労働をもたらし、働き手とその家族の生活の質に悪い影響を与えています。

外国人労働者の受入れ拡大は解決になるのでしょうか？働く私たちはただこの大波に翻弄されるしかないのでしょうか？雇用の実態や政策動向を見ながら考えます。

※参加を希望される方は、ご氏名・ご所属・ご連絡先(電話番号)を明記のうえ、FaxまたはEmailで必ず事前にお申込みください。なお、申込みは10月29日(月)から受け付けます。

※本学には来客用の駐車場がございません。公共の交通機関をご利用ください。

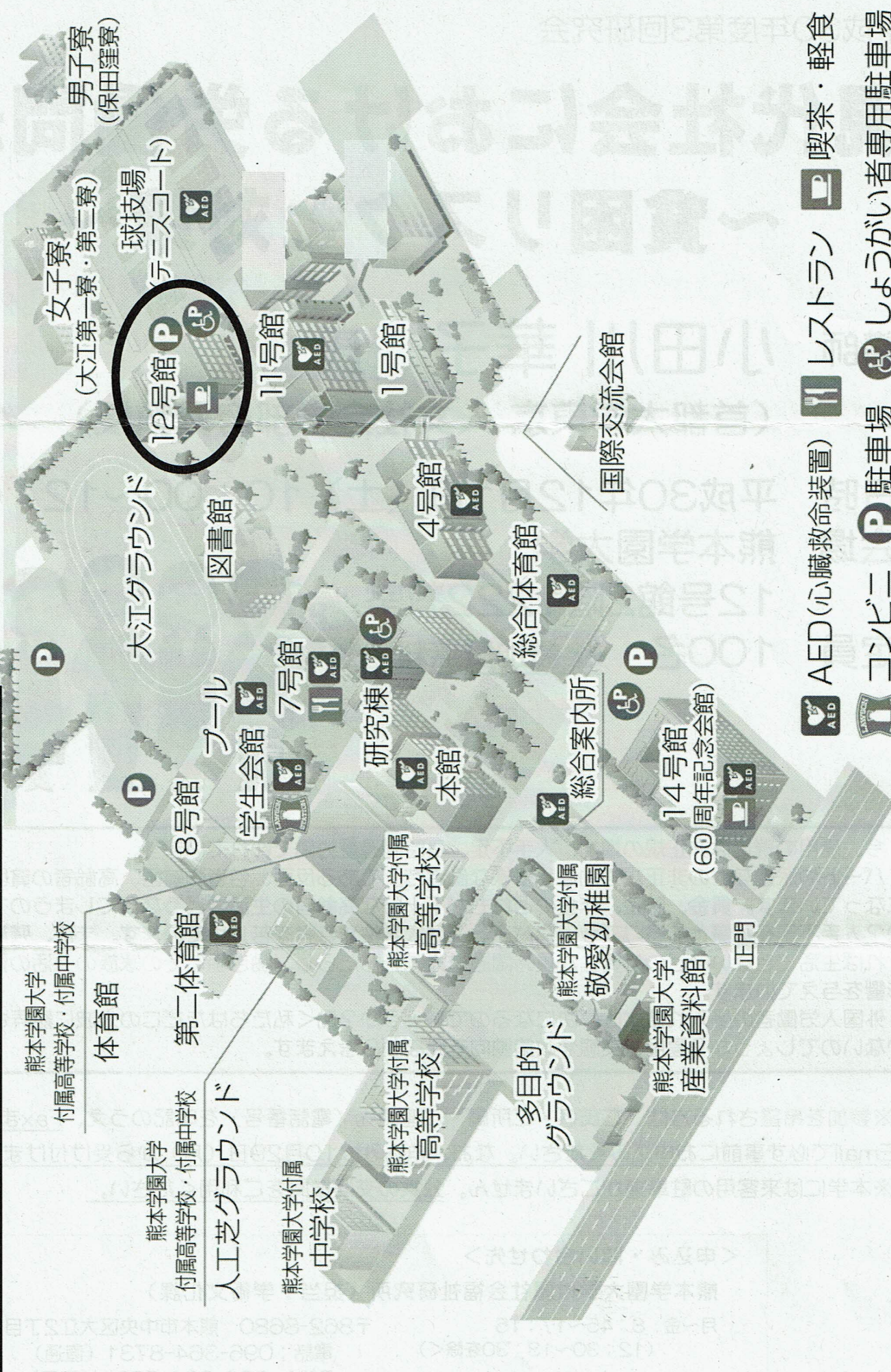
<申込み・問い合わせ先>

熊本学園大学付属社会福祉研究所(担当:学術文化課)

月～金 8:45～17:15  
(12:30～13:30を除く)

〒862-8680 熊本市中央区大江2丁目5-1  
電話:096-364-8731(直通)  
FAX:096-364-5201(専用)  
Email:shafuku@kumagaku.ac.jp

# 熊本学園大学キャンパスマップ



- AED(心臓救命装置)
- レストラン
- 喫茶・軽食
- 駐車場
- しょうがい者専用駐車場
- コンビニ